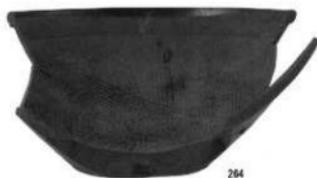




263



264



265



268



269



271

273



276



274

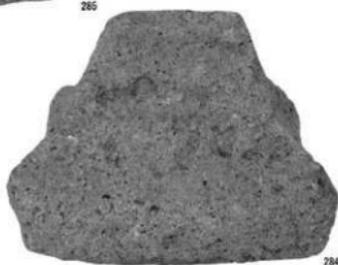
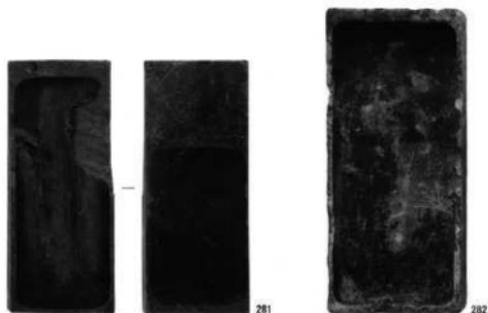
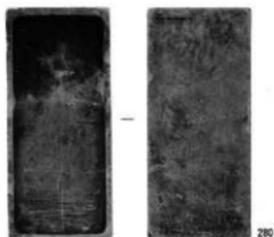
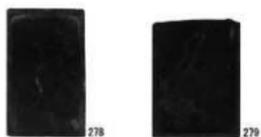
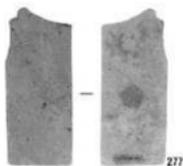


277

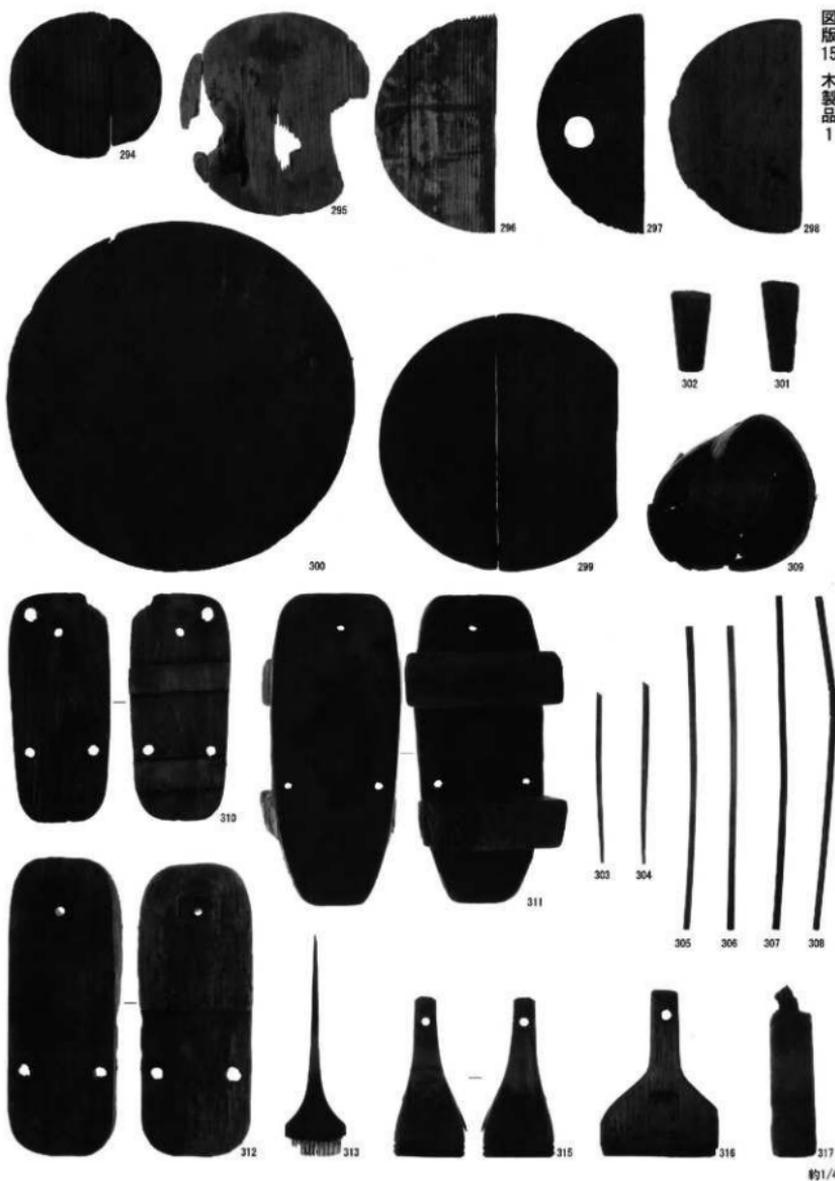


275

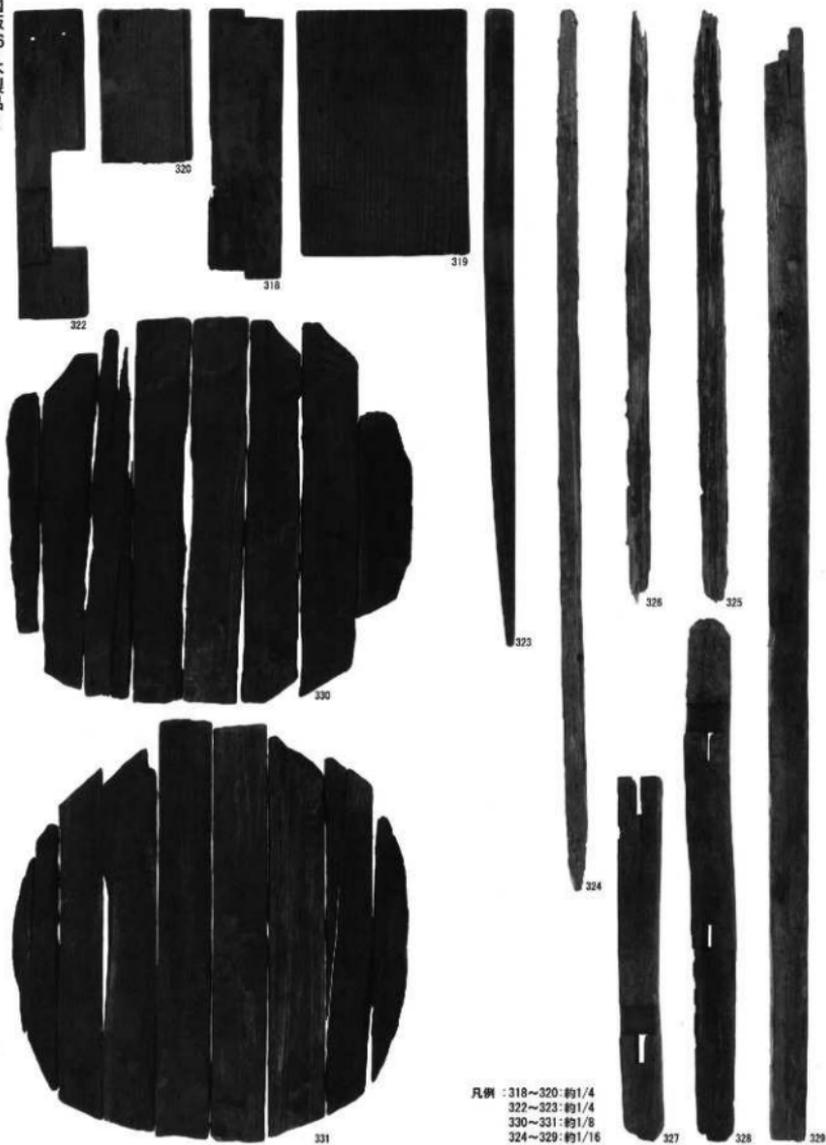
圖版 14
石製品



凡例：277~282：約1/4
283~285：約1/8



図版 16 木製品 2



凡例 : 318~320: 約1/4
 322~323: 約1/4
 330~331: 約1/8
 324~329: 約1/16

報告書抄録

ふりがな	とやまじょうあととはくつちょうさほうこくしよ							
書名	富山城跡発掘調査報告書							
副書名	総曲輪四丁目・旅館町地区優良建築物等整備事業に伴う富山城下町の発掘調査報告							
シリーズ名	富山市埋蔵文化財調査報告							
シリーズ番号	39							
編者名	鹿島昌也・伊藤雅和・酢谷恭子							
編集機関	株式会社 アーキジオ							
所在地	〒933-0824 富山県高岡市西藤平蔵 581 In0766-63-8850							
発行機関	富山市教育委員会 埋蔵文化財センター							
所在地	〒930-0091 富山県富山市愛宕町1-2-24 In076-442-4246							
発行年月日	西暦2010年1月31日							
ふりがな 所収遺跡名	所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
とやまじょうあと 富山城跡	富山市総曲輪四丁目・旅館町	16201	201397	36度	137度	20081117	1,300㎡	マンション建設
				41分	12分	～		
				22秒	33秒	20090116		
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構		主な遺物		特記事項	
とやまじょうあと 富山城跡	城下町	中世	溝、井戸、土坑、ピット		中世土師器、青磁、瀬戸美濃		中世富山城段跡の区画溝を確認	
		近世	背割下水、溝、井戸、土坑、土台建物、ピット		磁器、かわらけ、越中瀬戸、瀬戸美濃、点・信楽、石製品		背割下水によって隔てられた武家屋敷地と町屋敷地を確認。	
		近代			(砥石・五輪塔・宝篋印塔、平水鉢)、木製品(蓋、下駄、漆器碗、建築部材)			
要約	調査地は武家屋敷地と町屋敷地に相当し、両屋敷地を区画する石組みの背割下水を確認した。武家屋敷地は清政期富山城下町における中級～上級家臣団の屋敷地に相当する。町屋敷地は旅館町に相当する。町屋敷地の南側には北陸街道が東西に通り、調査地は通りからみて裏手に相当する。背割下水の周囲には、井戸や土坑などの遺構が密集し、特筆する遺構として、町屋敷地では土台建物の基礎部分を確認した。背割下水は少なくとも2時期の変遷が確認され、いずれも河原石を用いた石積みが構築されている。19世紀代に両側面を乱雑に石を積み上げた占相の溝が構築され、19世紀後葉～末に両側面を谷積(落積み)で底面は石敷きとしたものに作りかえられる。堆積物の分析より、背割下水は定常的に水が流れる環境ではなく、しばしば乾燥するような好気的環境にあったことが推定されている。							

富山市埋蔵文化財調査報告 39

富山城跡発掘調査報告書

・総曲輪四丁目・旅館町地区優良建築物等整備事業に伴う富山城下町の発掘調査報告・

発行日 2010（平成22）1月31日

編集 株式会社アーキジオ

〒933-0824 富山県高岡市西藤平藏 581

発行 富山市教育委員会 埋蔵文化財センター

〒930-0091 富山県富山市愛宕町1-2-24

Tel 076-442-4246

Fax 076-442-5810

E-mail maizoubunka-01@city.toyama.lg.jp

印刷 とうざわ印刷工業株式会社

